

■平成27年度 第1回 大和市街づくり推進会議 会議録■

[会議名称] 平成27年度 第1回 大和市街づくり推進会議

[開催日時] 平成27年5月19日(火) 10時から11時30分

[開催場所] 市立病院3階 講堂

[出席委員] 8名(欠席:3名)

[出席]: 饗庭 伸/江村 郁子/黒石 いずみ/須賀 良二/菅 孝能/星野 澄佳/
南 真美/吉田 洋子/

[欠席]: 宇津木 朋子/仲村 邦弘/松本 久美

[事務局] 5名(街づくり計画部長、街づくり推進課長、街づくり推進担当3名)

[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 tel.046-260-5483

[傍聴者] 0名

[公開の状況] 公開

I. 会議次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員紹介
4. 会長及び会長職務代理の選出
5. 報告
 - 推進会議の役割について
 - 任期中の予定について
6. その他
7. 閉会

II. 内容

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員紹介
 - 委員及び事務局員紹介
4. 会長及び会長職務代理の選出
 - 大和市街づくり推進会議規則第4条の規定に基づき会長を互選
 - 前年度に引き続き饗庭委員を推薦、全会一致で会長を饗庭伸委員に決定
 - 会長より会長職務代理として、吉田洋子委員を指名
 - [会長あいさつ後、各委員より簡単な自己紹介]
5. 報告

(1) 推進会議の役割について

(2) 任期中の予定について

・パワーポイントを用いて事務局より説明

質疑応答 (○…委員 ▼…市)

-
- ここまでの報告を受けて、何か質問はあるか。この場で疑問を解消し、一年間どのような活動をしていくかということ審議しておきたい。
- 街づくり賞は今年度も開催しないということか。
- ▼日本建築学会（以下、学会）の話がなければ街づくり賞を開催しようと考えていたが、今年度は学会の設計提案競技があり、その内容が街づくり賞と多少重複するので、今年度は開催しないということである。また、設計提案競技と併せて、絵画コンクールと写真コンクールを行う。
- 今後開催しないということではなく、今年度は行わないということか。
- ▼そうである。昨年度に引き続き、開催しないことになるが、来年度は開催したいと考えている。
- 設計提案競技は良い話だが、市民から見たときに、街づくり賞と同じように見えるよう、表現を調整した方がよいのではないか。「日本建築学会提案競技」という表現では、市民からかなり遠いものとして見えてしまう。
- 「大和市共催」や「街づくり賞」という言葉を入れるかどうかは別としても、「街づくり○○」等のような形で『街づくり』を全面に出した方が受け入れられやすいだろう。競技の方は一般の市民からの応募はないと思われるが、写真や絵画のコンクール関係の応募がしやすくなるのではないか。看板をどう掲げるかについても学会と調整していただきたい。
- ▼コンクールは市が運営することになり、学会と市がそれぞれに広報活動を行う。したがって、市としても、様々な媒体を使用して広報活動を行う予定である。それらの点も含めて、学会と調整をしているところである。
- 設計提案競技自体に「街づくり賞」という名前を付けてはいけないのか。
- ▼確認する。ただし、設計提案競技の運営は学会であるため、難しいかもしれない。
- ▼設計提案競技の入賞作品を街づくり賞の事例として、併せて表彰することはできるかもしれない。
- 過去の街づくり賞受賞事例のように、記録や、今年の成果として、例えば年次報告書に記載できる方がよいだろう。そのように記載できた方が、市民の目から見てもわかりやすく、かつ実績として残すこともできる。
- ▼どのように表彰するかについては、市側に決定権があると考えられるが、確認はしてみる。提案内容がそのような形で評価されるならば学会にとっても良いのではないか。
- この設計提案競技を今年度の街づくり賞とするならば、制度的な話になるが、街づくり賞のどの部門とするか等、設計提案競技と街づくり賞との制度的な整合性を確認しておいた方がよい。
- しかし、今年度の街づくり賞を設計提案競技とすると、学会が中心となって選考・表彰を行うことになる。そうすると、推進会議委員が事例の中身を確認し、審査に加わらないため、受賞事例に関知していないことになってしまう。
- その通りである。例えば、設計提案競技と推進会議が審査を行うコンクール関係とを切り離し

- て、コンクール関係のみを街づくり賞とする方法もある。
- あるいは、設計提案競技の結果を受けて、その内容を推進会議で確認をするなども考えられる。
 - 確かにそのようにしないと、今まで街づくり賞を審査してきた実績と整合しないことになってしまう。
 - ▼現在、設計提案競技の審査員の中には、推進会議委員の参加も検討している。街づくり賞の評価の仕方については様々な手段が考えられる。再度、事務局で整理をしてみる。
 - 資料には、「なお、入選作品の提案につきましては、今後の大和市のまちづくりの参考とさせていただきますが、実現化については未定です。」とあるが、良い提案は受け取って、市の施策として生かしていくべきである。そのためにも、街づくり賞の議論とは異なるが、設計提案競技の結果を一度推進会議で取り上げ、良いものは生かしていけるような方向性は与えていきたい。
 - ▼一次審査通過者は、10月末にグリーンアップセンターでプレゼンテーションを行う予定である。推進会議委員や市民に聞いていただく場が用意されている。
 - 今までの入賞作品の中で、その後実現化に至った例はあるのか。
 - ▼今までは、主な応募者は大学の学生だと聞いている。そのため、実際に設計をできる方々が応募実施していくものではない。この競技の趣旨としては、学会が専門家だけではなく地方自治体と共に市民も参加しながら提案を共有し合おうというものなので、必ずしも実現することだけが目的の設計提案競技ではない。当然その中で、良い提案が出てくれば実現する可能性もあるだろう。
 - 設計提案競技の話が多いが、その他のことでも何か意見はないか。
 - 先ほど、街づくり賞を来年度に開催したいという話があったが、昨年度行わなかった街づくり賞を再度開催するバックグラウンドをうかがいたい。
 - ▼街づくり賞はこれまでほぼ毎年開催をしてきて、様々なPRをしているが、応募事例がなかなか集まらないのが現状である。今までのやり方で良いのかと考えたことが今回立ち止まった理由である。その間進んでいる街づくりもあると思われるので、2年おきなのか3年おきなのかは別にして、市としては続けていきたいと考えている。
 - ▼今回は学会の設計提案競技があったので、今年度も開催を見送った。毎年開催するのか、昨年度のように「やまと・ブランド・発見」のようなイベントがよいのか、いろいろ模索しながらやっていきたい。
 - 今年度の推進会議の予定で、渋谷（南部地区）土地区画整理事業の都市再生整備計画事業の事後評価についてという項目があるが、その資料はあるか。
 - ▼現在準備中である。市施行の高座渋谷駅周辺の土地区画整理事業がほぼ完了に近い状態になっているが、その成果について評価をしていただきたいと考えている。それについてはまた改めてご説明したい。
 - 過去に、大和市内の視察を行ったが、今年度の予定は、どのようにお考えか。
 - ▼本日は都合がつかなかったが、できれば次回の会議の前後に、行いたいと考えている。例年は、街づくり賞の時期に行っていた。
 - 年間予定に記載している『街づくりの推進に関する事項』について、1月下旬に議論することになっているが、もっと早い時期に大和市の街づくりについて議論する場を設けた方がよいの

ではないか。この時期では遅すぎる。

▼その通り対応したい。

▼高座渋谷の土地区画整理も、3回程予定に入れているが、必ず記載している時期なのかも未定である。

○たとえば、街づくり学校にも関わっているが、もう少し地区の街づくりにつながるような工夫ができないか、皆様のご意見をお伺いできないかと考えている。街づくり学校等の事業が本当に具体的な地区の街づくりの推進につながっているのかどうかは心もとない部分があるので、そういった議論をしてはどうか。

○先程ご提案のあった現地視察についても、次回に行う方向で調整していただきたい。

▼了解した。日程等は、またご相談したい。

○高座渋谷は現地視察を行うのか。

▼そうである。

○今のところその時期はいつ頃になるか。

▼それは内容によって考える。ただ、あまり後になって視察ができなくなると良くないだろう。

○大和駅東側再開発事業の様子はまだ見ることはできないのか。

▼事後評価を行う時期ではないが、夏頃であれば上棟する時期なので、高座渋谷と合わせて両方ご覧いただくことができると思う。

○再開発事業の評価も、推進会議の審議事項になるのか。

▼そうである。ただ、完成は平成 28 年の 11 月を予定しているなので、実際にやっただく事後評価は、それ以降になると思われる。当然ではあるが、事業の進捗状況の報告は適宜推進会議の中で行っていく。

○この他に質疑等がなければ、この報告事項を終了する。

6. その他

○次回の推進会議は7月2日（木）10:00より開催予定である。

7. 閉会

以上